

新ひだか町立病院コラム Vol. 57

【未来の看護師さんとの出会い】

～夏期休暇中の看護学生を受け入れました～

総看護師長の城地です。

この夏、町立静内病院の看護部では、今年から新たな取り組みとして、『未来の人材育成および確保』を目的に、看護学生を対象とした病院アルバイトの受け入れを実施しました。

当院の看護師には、他病院で経験を積んだのち、地元である当町に戻り就職する職員が一定数おります。そこで、看護学生が夏季休暇中に病院見学やインターンシップに参加する機会に加え、アルバイトという形で実際に現場を体験できる仕組みを作ることは、将来の就職選択肢を広げるきっかけになると考え企画しました。

今回の募集は、帰省中の看護学生を対象に、看護補助を中心とした短期アルバイトとして行い、約3週間にわたり看護師と共に日常生活の援助などの業務を経験していただきました。

学生からは、「一定期間、現場に入ること、看護の仕事の広がりや深さを実感できた」、「看護師以外の職種との連携を知ることができた」といった感想が寄せられました。

特に印象的だったのは、「スタッフの皆さんが明るく、働きやすい職場づくりができており、患者第一に様々な職種の方と協力している姿が素晴らしかった」という言葉でした。

短い期間ではありましたが、学校では学びきれない部分を現場で経験することで、学生と職員の双方にとって学びのある時間となりました。今後もこうした取り組みを継続し、次年度も病院ホームページでの募集を予定しています。

地域の医療を担う人材が一人でも多く町立病院に戻ってきてくれることを願いながら、引き続き取り組んでまいります。



院長のつぶやき

院長の小松です。

近年、医療現場では「多職種連携（チーム医療）」の重要性が一段と高まっています。医師や看護師だけでなく、薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士、社会福祉士など、さまざまな専門職が一つのチームとして患者さまに関わることで、より質の高い医療が実現します。

看護学生にとっても、こうした多職種との協働を実際に体験することは大切です。このたび、当院では看護学生が多職種連携を体験できるアルバイトの機会を設けました。現場では、各職種がどのように連携し、患者さんの生活や回復を支えているのかを間近に感じることができます。

シミュレーションでは得られない“本物のチーム医療”の現場で、自分の役割や責任を意識しながら行動する経験は、看護師としての成長に大きくつながります。また、異なる専門職と対話し、協力する中で、柔軟な思考やコミュニケーション力も自然と磨かれます。

多職種連携を体験できるアルバイトは、将来の医療を支える人材育成の貴重な一歩です。学生の皆さんには、この経験を通して広い視野と実践力を身につけ、患者さん中心のチーム医療を担う存在へと成長してほしいと願っています。

❀ 町立静内病院

❀ 三石国保病院

0146-42-0181 (代表)

0146-33-2231 (代表)